

「幅厚比」の文章問題攻略

出題頻度の高い過去問を理解

- ・幅厚比と強度との関係(過去問を抜粋)
- ・令和2年～平成22年で5回出題

骨組の塑性変形能力を確保するために定められている柱及び梁の幅厚比の上限値は、基準強度F値が大きいほど小さくなる。

- ・令和1年、平成24年 正しい選択肢として出題

梁に使用する材料をSN400BからSN490Bに変更したので、幅厚比の制限値を大きくした。

- ・平成30年、平成27年、平成26年 不適当な選択肢として出題

- ・幅厚比と局部座屈との関係(過去問を抜粋) ・令和2年～平成22年で3回出題

H形鋼の梁の設計において、板要素の幅厚比を小さくすると、局部座屈が生じにくくなる。

- ・令和2年、平成28年 正しい選択肢として出題

H形鋼の柱において、フランジの局部座屈を防ぐために、フランジ厚を薄くし、
フランジ幅を広げた

- ・平成23年 不適当な選択肢として出題

- ・フランジとウェブの幅厚比の上限値(過去問を抜粋)
 - ・令和2年～平成22年で3回出題

骨組の塑性変形能力を確保するために定められているH形鋼の柱及び梁の幅厚比の上限値は、
フランジよりウェブのほうが大きい。

- ・令和1年、平成30年、平成27年 正しい選択肢として出題

- ・幅厚比と構造特性係数 D_s (過去問を抜粋)

- ・令和2年～平成22年で2回出題

「ルート3」で計算する場合、筋かいの有効細長比や柱及び梁の幅厚比等を考慮して構造特性係数 D_s を算出する。

- ・平成30年、平成26年 正しい選択肢として出題